

Close Up クローズアップ Honda の活動

お客様の事故防止につなげていただくための安全運転啓発コンテンツを開発

ペダルの踏み間違いによる事故を防ぐために

近年の交通死亡事故の要因の一つとして、ペダルの踏み間違いなどの「運転操作不適」が目立っている。このような運転操作不適による事故は高齢者だけでなく、若年層にも多いことから、Honda はすべてのドライバーに、ペダルの踏み間違いを防ぐ安全行動の重要性に気づいてもらうためのプログラムとして、「みんなで安診（みんなで安全運転行動診断）」を2018年に開発。実際の車両を用いた死角の確認やじゃんけんによ

る反応体験などを通じて、ペダルの踏み間違いの防止につながるポイントを伝える内容となっている。

今年3月、来店したお客様により手軽に安全運転啓発ができるよう、アニメーションを交えた「みんなで安診」の映像版を完成させた。4月以降、店頭でタブレット端末から利用できるようになっているため、スタッフが担当するお客様ごとにタブレット端末を見せながら説明することが可能。今後、商談時や点検の待ち時間、イベント会場での交通安全教室などで活用される。



Honda 交通安全啓発キャラクター「できるニャン」が進行役となり、ペダルの踏み間違いの防止につながるポイントを伝える「みんなで安診」映像版

高齢歩行者の気持ちや行動をドライバーに理解してもらう

2022年の交通事故死者数を状態別にみると、歩行中が最も多く、その7割以上は高齢者（65歳以上）である。そこで、今年3月、Honda はドライバーへの安全運転啓発映像「高齢歩行者を守るために」を制作した。この映像は、すべてのドライバーに高齢歩行者の気持ちや行動を理解した運転を意識してもらうことを目的としたもの。高齢歩行

者の交通事故データやドライブレコーダーの危険場面の映像、なぜ危ない横断をしようのか、歩行者（高齢者）側の声を盛り込み、歩行中の高齢者の行動特性とドライバーが注意すべきポイントについて理解が深まる内容となっている。

4月以降、Honda の YouTube チャンネルにて、5月からは来店したお客様にご覧いただけるよう、店内にあるモニター等を通じて、順次公開していく予定だ。



歩行中の高齢者の行動特性とドライバーが注意すべきポイントを伝える安全運転啓発映像「高齢歩行者を守るために」

Honda の交通安全に関する情報をまとめたポータルサイトがリニューアルオープン

ドライバー・ライダーを対象とした交通安全に関する情報をまとめたウェブサイト「Honda Safety Portal」をリニューアルオープンした。安全運転のための各種情報を一元化し、利用しやすいサイトにする事で、交通事故防止に役立てていただくことが目的である。「Honda Safety Portal」では、安全運転のポイントや動画による「危険予測トレーニング」、「SAFETY MAP」、販売店での活動や安全運転支援技術など、Honda のハードとソフトの両面から安全に関する情報を提供している。



詳しくは右記を参照。 <https://www.honda.co.jp/safety-portal/>

Close Up クローズアップ 教育機器

運転能力評価サポートソフトウェアを搭載した医療機関向け本格シミュレーターを4月から発売

Honda が2012年に発売した「リハビリテーション向け運転能力評価サポートソフト（以下、サポートソフト）」は、簡易版ドライビングシミュレーター（Honda セーフティナビ）に搭載され、これまで多くの医療機関が導入し、リハビリ加療中の方の自動車運転能力の現状把握や訓練に活用されてきた。熊本県の角田直美さんはサポートソフトを実際に体験し、運転復帰を果たした一人だ。角田さんは身体に異変を感じたことから、2021年8月に病院を受診。検査の結果、脳梗塞と診断され、医師からクルマの運転はできないと告げられる。それまで通勤などでほぼ毎日、運転していた角田さんは、回復後に運転を再開したいと医師に伝えた。

「9月にリハビリ病院に転院し、運転を再開するためのリハビリが始まり、シミュレーター（サポートソフト）を2日に1回、2週間ほど利用しました。運転評価のほかに、横に座っている作業療法士の先生が話しかけて注意をそらされる中で、シミュレーターを運転するというトレーニングもありました。実車の運転に向けて励みになりましたし、自信もついたと思います」と角田さんは振り返る。シミュレーター上で運転能力に問題ないレベルであることが確認できたため、車両を使つての評価へと移行。これもクリアして、医師から運転に支障がないと診断された。「運転ができない2ヵ月半はとて長かったです。退院後に初めて運転した時は、人に頼らず自由に移動ができる喜びを感じました。以前にも増して、安全かつ慎重に運転しています」と角田さんは笑顔で語る。



医療機関向けの本格ドライビングシミュレーター「DB型 Model-A」

今年4月、Honda は2021年にモデルチェンジした安全運転教育用「ドライビングシミュレーター」をベースに、サポートソフトを実装した医療機関向けの本格ドライビングシミュレーター「DB型 Model-A」を

発売する。このシミュレーターに加え、交通教育センターで提供している自操安全運転プログラム（P4参照）を通じて、リハビリ加療中の方の安心・安全な運転復帰と運転支援業務に携わる方々への貢献をめざす。



サポートソフトを利用し、運転復帰を果たした角田直美さん

ドライビングシミュレーター「DB型 Model-A」に関しては下記にお問い合わせください。
本田技研工業（株）安全運転普及本部
普及企画課 機器普及グループ
TEL.04 (2955) 5751